

具体的施策名	2004（平成16）年度実績	2005（平成17）年度計画等
(財) かながわ廃棄物処理事業団の運営の推進 【環：廃棄物指導課】	※取組状況（処理対象品目、処理量等） ・廃プラスチック類、建設系混合廃棄物等の処理量：約48,972トン（-2,749トン）	今年度の受け入れ予定量を55,000トンとし、引き続き可燃性産業廃棄物、特別管理産業廃棄物のうち、感染性廃棄物等の処理事業を行う。
ごみ処理施設における環境に配慮した施設建設と整備の推進 【環：施設課】	□建設整備状況 ◇王禅寺処理センター基幹的施設整備事業着手 ◇資源物ストックヤードの建設 橋処理センター内における缶・ペットボトルのストックヤード（保管施設）を建設	□計画 ・王禅寺処理センター基幹的施設整備事業完了 ・橋処理センター基幹的施設整備事業着手
浮島一期埋立地の廃止に向けた整備・管理の推進 【環：施設課】	□整備状況 ◇浸出液処理施設等建設工事着工	□計画 ・浸出液処理施設等建設工事完了
浮島二期埋立地の整備の推進 【環：施設課】	※取組状況 ・排水処理施設建設（その2工事）整備計画書作成	□計画 ・排水処理施設建設（その2工事）整備計画書提出・工事着工

■ エネルギー

エネルギー

計画目標 ・ 効率的にエネルギーが利用されるとともに、自然エネルギー及び未利用エネルギーが有効に利用されていること

現 状

■ 指標：エネルギー消費量（2000年現在のレベルより低くすることを目指す。）

- ・ 2002年度の市内のエネルギー消費量は283,117TJ、2003年度の市内のエネルギー消費量は289,275TJ、2002年度と比べ約2%増加しています。

市内のエネルギー消費量（TJ/年）

部 門	2002年		2003年		対 2002年比
	消費量	構成比(%)	消費量	構成比(%)	
転換部門(転換後)	7,082	2.5	6,588	2.3	-7.0
産業部門	229,762	81.2	237,876	82.2	3.5
民生部門（家庭系）	18,612	6.6	18,100	6.3	-2.8
民生部門（業務系）	9,859	3.5	9,559	3.3	-3.0
運輸部門	17,802	6.3	17,152	5.9	-3.7
合 計	283,117	100.0	289,275	100.0	2.2

注：エネルギー転換部門（転換後）とは、発電所等で発電ために消費するエネルギー消費量をいいます。

本市のエネルギー消費の特徴として、産業部門が全体の8割以上を占めていることがあげられます。

新エネルギーであるコージェネレーション設備については、事業者は40件、276,412kW導入されており、公共施設では、多摩区総合庁舎、南部生活環境事業所、川崎病院、多摩病院で2,708kWに導入されています。

コ・ジェネレーション
（熱電供給システム）

発電と同時に発生した排熱も利用して、給湯、暖房等を行うエネルギー供給システム。従来の発電システムのエネルギー利用効率は40%程度で、残は廃熱として失われていたが、このシステムでは最大80%まで高められる。これまでは紙パルプ、石油化学産業等で導入されていたが、最近ではオフィスビル、病院、ホテル、スポーツ施設等でも導入が進んでいる。

■ 指標：自然エネルギー、未利用エネルギー利用施設数
(2000年現在の利用施設数より増やすことを目指す。)

● 自然エネルギー

2004年度に橘小学校、大戸小学校に太陽光発電システムを導入しました。また、川崎区市民健康の森に風力発電を導入しました。

民間の新エネルギー導入状況は、太陽光発電では、2004年12月に鉄道会社が駅に太陽光発電システムと風力発電システムを導入しました。また、住宅用太陽光発電については、2003年度までの累計で約1,567kW件の導入があり、単年度当たりの設置件数は増加傾向にあります。また、太陽熱利用のほとんどが個人住宅の導入です。

● 未利用エネルギー

川崎市新エネルギービジョン(1997年策定)では、未利用エネルギーの賦存量を算定していますが、エネルギー利用が期待できる廃棄物エネルギー、下水汚泥エネルギー及び下水処理水温度差エネルギーの賦存量は2,384Tcalで、そのうち1,752Tcalがエネルギー転換効率等を考慮した利用可能な最大量とされています。

現在行われている都市排熱の市施設への利用例としては、ごみ焼却施設等における発電及び温水プール等への余熱供給、入江崎総合スラッジセンターにおける下水汚泥焼却熱の温水プールでの利用などが行われています。

自然エネルギー・未利用エネルギーを利用する公共施設数

年度		2000	2001	2002	2003	2004
自然エネルギー	太陽光・太陽熱	7か所	8か所	11か所	12か所	15か所
	風力	0	0	0	0	1か所
	太陽光+風力ハイブリッド	0	1か所	1か所	1か所	1か所
未利用エネルギー	廃棄物エネルギー	4か所	4か所	4か所	4か所	4か所
	下水熱エネルギー	2か所	2か所	2か所	2か所	2か所

川崎市新エネルギービジョン

1997年に作成した川崎市エネルギービジョンを技術革新や環境変化に対応した内容に更新し、環境基本構想を目指す「誰もがいきいきと心豊かに暮らせる持続可能な市民都市かわさき」の都市像とこれに基づく新総合計画等と連携した新エネルギー分野の計画を進めるために2005年11月に改定を行いました。新エネルギー推進のために6つの重点プログラムを設定しました。

主な施策の概要

具体的施策名	2004(平成16)年度実績	2005(平成17)年度計画等
--------	----------------	-----------------

Ⅲ-3-1 省エネルギー対策の推進

Ⅲ-3-1-1 省エネルギー対策の推進

市民の省エネルギー型行動の促進 【環：環境調整課】	※取組状況 【Ⅲ-1-1-1 施策参照】	※予定 【Ⅲ-1-1-1 施策参照】
公共施設における断熱性を考慮した建物設計等の採用の推進 【ま：施設計画課】	□導入建物数：4件(±0) ・川崎消防局総合庁舎、南部生活環境事業所、特別養護老人ホーム「しゅくがわら」(2001年) ・川崎病院	□採用の促進
公共施設のエネルギー需要特性に応じた効率的なエネルギー供給システム(コ・ジェネレーション、ヒートポンプ、蓄熱システム等)の採用の推進 【ま：施設計画課】	□システム導入件数 ◇コ・ジェネレーションシステム：1か所(1か所) ・川崎市立多摩病院(2005年完成予定)	□導入の促進 ◇コ・ジェネレーションシステム

ヒートポンプ

冷媒(熱を運び役割をするガス等の媒体)が液化する際に熱を放出し(凝縮熱)、気化する際に熱を吸収する(気化熱)原理を利用した冷暖房機器等をいう。温度の低い方から高い方へと熱を運び上げることから、ヒートポンプと呼ばれる。

蓄熱システム

夜間電力の利用等により、冷水、温水を蓄熱槽に蓄え、これを必要な時に冷暖房・給湯に使うシステム。設備の利用効率が高まるため、設備の容量を抑えることができる。

具体的施策名	2004（平成16）年度実績	2005（平成17）年度計画等
Ⅲ-3-2-1 自然エネルギー、未利用エネルギーの利用の推進		
新エネルギービジョンに基づく施策の推進 【総企：都市再生・臨海部整備推進室】	1997年に公表した新エネルギービジョンに基づく各種新エネルギーの利用推進	1997年に公表した新エネルギービジョンの改定と重点プロジェクトの推進
ごみ焼却施設等の余熱による発電や温水プールへの活用の推進 【環：処理計画課】	<input type="checkbox"/> 発電量 <input checked="" type="checkbox"/> 発電実績量 ・浮島処理センター： 6,336,500kW/h（-5,109,210kW/h） ・堤根処理センター： 9,527,580kW/h（-424,850kW/h） ・橘処理センター： 15,721,010kW/h（-1,309,790kW/h） <input checked="" type="checkbox"/> 余熱利用市民施設（温水プール等）へ蒸気供給 ・堤根処理センター、・橘処理センター、 ・王禅寺処理センター <input checked="" type="checkbox"/> 施設内の冷暖房他余熱の有効利用	・余剰電力の売電 ・施設内の冷暖房他余熱の有効利用 ・余熱利用市民施設への蒸気供給
下水道汚泥焼却熱の温水プール等への有効利用 【建：計画課】	<input checked="" type="checkbox"/> 取組状況 入江崎総合スラッジセンターにおける下水汚泥焼却熱による温水プール等の運用 ・余熱利用プール利用者入場者：79,678人	※予定（継続実施）
下水排熱の下水道施設内冷暖房への利用等、下水の熱エネルギーの利用 【建：計画課】	<input type="checkbox"/> 余熱利用状況 ー	ー
公共施設及び民間施設への太陽エネルギー利用施設の導入の推進 【ま：施設計画課】	<input type="checkbox"/> 導入件数 <input checked="" type="checkbox"/> 公共施設 太陽光発電システム：12か所（+1か所） ・かわさき南部斎苑（2003年） ・柿生小学校、古市場小学校、麻生区役所 ・特別養護老人ホーム「しゅくがわら」 ・特別養護老人ホーム夢見ヶ崎 ・白幡台老人いこいの家・子ども文化センター ・高津小学校、富士見中学校、橘高校 他 <input checked="" type="checkbox"/> 民間施設 省エネルギー設備設置に対する 融資制度の運営（1998年4月から）	<input checked="" type="checkbox"/> 公共施設（導入計画） 太陽光発電システム ・橘小学校（2004年度完成予定） ・大戸小学校（2004年度完成予定） ・北部医療施設（2005年度完成予定） <input checked="" type="checkbox"/> 民間施設（継続実施）
配水池の落差による位置エネルギーを利用した小水力発電による未利用エネルギーの利用の推進 【水：経営企画担当】	<input type="checkbox"/> 発電量 <input checked="" type="checkbox"/> 発電実績量 ・江ヶ崎発電所：483,800kW/h	・鷺沼発電所（2005年度完成予定）
新エネルギー導入・利用状況調査の実施 【総企：都市再生・臨海部整備推進室】	<input type="checkbox"/> 調査結果 ・川崎市エネルギー（改定版）策定調査	継続実施
新エネルギーの利用技術等の最新動向に関する情報収集 【総企：都市再生・臨海部整備推進室】	<input checked="" type="checkbox"/> 取組状況 ・バイオマスエネルギービジョン策定等調査	継続実施